

令和3年度第5回芽室町総合計画審議会専門部会（Bグループ）議事録

令和3年8月25日（水）18:30～19:50

役場2階会議室7

■出席委員（9名）

鈴木グループ長、黒田委員、小林委員、櫻井委員、須崎委員、須藤委員、高橋（圭）委員、高橋（好）委員、山田委員

■欠席委員（1名）

岡田委員

■事務局・説明員

石田政策推進課長、佐藤主事

佐藤都市経営課長、齋藤都市経営係長、山田建築住宅係主任、橋本環境土木課長、齋藤環境土木課長補佐兼生活環境係長、菊池環境土木課長補佐兼公園係長、高橋水道課長、玉村水道工務係長、佐々木下水道工務係長

■開会

■グループ長挨拶

①有効な土地利用の推進

【事前意見】

・中心市街地の空洞化対策については、この総合計画審議会（専門部会）に限らず様々な場面で長きに亘り、「対応を検討していく」「推進する」という回答が多い印象です。芽室町だけではなく全国的な傾向・段階だと思いたすが、

約3年前に取りまとめた中心市街地の物件所有者に対する調査についても、その後 PDCA が回せていない（活かせていない）とも感じています。何かの検討委員会等のプロジェクトチームを組成する等のアクションを起こすべきと思っています。官民各自が空洞化対策や活性化に対して取り組むのも否定しませんが、「まち並が整っていて機能的なまち」からは遠ざかるリスクもあると思いますので。例え結果がどうあれ、オール芽室での意識・情報の共有は必要だと思えます。

施策の対象エリアである「市街地」の中でも詳細の「中心市街地」に対する長い文章で申し訳ございません。

委員

マネジメントシート内3. 施策の達成状況(2)③事務事業全体の振り返り(総括)欄の町有地(未利用地)有効活用について、民間への売却とはどのように進めたのか。

都市経営課長

未利用地の活用について、旧南保育園の空き地を民間に宅地として売却した。宅地造成を終え、住宅地として20区画販売していただけることになっている。小さな区画の未利用地をどのように活用していくのかについては、方針を定めているところである。

委員

マネジメントシート内3. (1)②根拠(理由)欄記載の①について、住宅戸数を増やすことと同時に、住み続けていくことで住宅戸数を減らさないということも重要だと思う。住み始める時の奨励事業はよく目にするものが多いが、芽室町ではリフォーム時の奨励事業もあり、あまり周知されていない。これから町に住み始める人に対しても、10年後、20年後も安心して住み続けていくことができるということもあり、奨励事業をまとめて広報誌で周知した方が良いと思う。

政策推進課長

おっしゃるとおりだと思う。リフォーム奨励事業というのは、町の事業者を利用した場合に、リフォームにかかった費用の5%相当分を、町内で利用できる商品券としてお渡しするというもの。目的は商業活性化であるため、この事業を担っているのは商工労政課。定住関係を担っているのは魅力創造課であり、現状では十分に連携をとれているとは言えない。既に住んでいる方に対してリフォーム奨励事業があるということは、魅力創造課から周知できるように検討したい。

委員

マネジメントシート内3. (1)②2022年度の目標達成見込み欄②に記載の都市計画マスタープランを推進することによって、どのように達成可能なのか。

都市経営課長

都市計画の土地利用において、住宅地や商業地などを町全体の中でバランスよく配置することが、住みやすいまちづくりにおいて必要である。将来の都市像をまとめているものがマスタープラン。例えば、住宅地の中に工業団地があったとして、朝早くから大きなエンジン音が鳴り響いている状況では、騒音により近隣住民は住みづらいと思う。このようなことを解消していくように、都市計画では進めている。このマスタープランを推進していくことで住みやすい快適なまちとなり、目標達成は可能であると考えている。

グループ長

評価に移るが、意見はあるか。

(意見なし)

意見がなければ、同様にCと評価してよろしいか。

(異議なし)

では「C(前期実施計画策定時と比較して)前進した」評価とする。

②快適な住環境の整備

委員

コロナの影響で公園の遊具は使えないようにしているのか。

環境土木課長

緊急事態宣言下において接触が多いとされる大型遊具や噴水施設は閉鎖している。ただ、散歩される方もいるため、トイレなどは利用可能となっている。

委員

公営住宅入居希望者の居住環境に対する要望が従前よりも高いとあるが、対応できるような要望なのか。

都市経営課長

公営住宅も古いものもあり、入居希望者に紹介しても寒さなどにより「もっと居住環境が良いところはないのか」や高齢者からは「車いすになった時に住みやすい環境はあるか」など要望がある。

委員

車いすの対応は可能なのか。

都市経営課長

新しい公営住宅はバリアフリーで対応可能な部屋もある。古い公営住宅はそこまでの設備はなく、紹介しても入居しない場合がある。

委員

住民意識調査の記述にあるが、インターネット環境を良くすることは役場主導では難しいだろうか。

政策推進課長

おそらく農村部の方。農村部については今年度光回線を整備しており、来年度から利用可能と

なるため改善されると思う。

委員

農村部の現状として、夜間などインターネットが繋がらなくなることがある。役場に連絡しても「今年度光回線を整備している」との回答しかなく、今現在利用できないことには変わりはない。質問に対する回答にずれがあると思う。

政策推進課長

ご指摘のとおりと思う。言い訳になるかもしれないが、コロナによって国からの交付金もあり、通常3年から5年かかるものを今年度一斉に整備工事を行っており、早く進めているところではある。ただ、現状の解決策はない。

グループ長

評価に移るが、意見はあるか。

(意見なし)

庁内評価と同様にCとするが、光回線の意見を、外部評価として意見(今後の取り組みへの意見)とさせていただくのはどうか。

(異議なし)

では「C(前期実施計画策定時と比較して)前進した」評価とする。

③道路交通環境の整備

委員

令和2年度から高齢者を対象としたタクシー助成事業は有効に活用されているか。

政策推進課長

現在の申請者は約70名。苦情はない。個人的な意見にはなるが、もっと申請されると予想していた。農村部へ行くと制度自体知らない方が多く、チラシや柏樹学園にて説明したが、周知が足りないのかもしれない。

委員

個人的な意見だが、いくら半額になるとは言え、タクシーは高いものというイメージがあるのかもしれない。

委員

タクシー助成は良いと思っていたが、相乗りについてどうなのか。

委員

相乗りについては過去に実験して、それなりに乗っていただいた。昨日新聞社に取材してもらったが、MaaS がまさに相乗り。より町民の方に便利だと感じ、体験(利用)していただくということが大きな課題。

委員

除雪について、夜に作業しているため、残った雪が玄関先で凍っている。作業時間の検討はあるのか。

環境土木課長

除雪の手法として、交通量の少ない時間帯に作業を行うことが効率良い。現在は夜中1時から4時までに作業をしている。時間帯を変更するなら、効率を上げるために重機やオペレーターを増やすことが想定される。費用面からも町民にはご理解をいただいている。

委員

排雪について、一定の量になったら排雪するなどの基準はあるのか。

環境土木課長

排雪路線が決まっていて、一定量積雪して交差点の見通しが悪くなった場合、排雪を行う。

委員

同じ路線の途中で作業を終わっているところがあった。

環境土木課長

優先順位を決めて計画的に行っているため、途中で作業を止めている場所もあるかと思う。今後もなにか気になる点があれば、連絡いただきたい。

グループ長

評価に移るが、意見はあるか。

(意見なし)

庁内評価と同様Dと評価してよろしいか。

(異議なし)

では「D(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した」評価とする。

④景観と保全とクリーンエネルギーの推進

委員

成果指標③について公共サインが前期実施計画策定時から34から2019実績で74に急激に増えたのはどういうことなのか。

都市経営課長

「何条何丁目」という災害時にも役立つサインを全域に設置した。一定程度終わったため、今年度から公共施設の案内サインを街中に設置する予定である。

委員

上美生から街中へ車で向かうと、自転車の乗った親子などが2列で走っているのを見かける。他自治体では、歩道の半分を青くペイントして自転車専用道を設置しているが、芽室町では設置しないのか。

環境土木課長

条例上、自転車専用道の設置は可能であるが、現状では予定はない。

グループ長

評価に移るが、意見はあるか。

(意見なし)

庁内評価と同様C評価としてよろしいか。

(異議なし)

では「C(前期実施計画策定時と比較して)前進した」評価とする。

⑤廃棄物の抑制と適正な処理

グループ長

事前質問及び事前意見に対して、回答をお願いする。

【事前質問及び事前意見】

・「1人1日当たりの家庭から排出するごみの量」について、算出方法を教えてください。毎年同じ質問で申し訳ございません。

・成果指標①の対前期比増加要因は、「コロナ巣ごもり」による外食から家庭内料理へのシフトもあるかもしれませんが。それに関連して、今後もより一層の食品ロス削減に対する取組みも必要ですね。

環境土木課長補佐

計算式は別紙記載のとおり（別紙に沿って説明）。第4期総合計画策定時は事業用ごみと家庭用ごみを一括して芽室町内から出たごみの量として計算していた。しかし、専門部会などの中で、評価としては一番身近である家庭用ごみから算出してはどうかという話し合いの中で、第5期総合計画策定時から家庭用ごみにて評価していただくこととなった。町内の家庭用ごみは全てくりりんセンターに搬入しているため、搬入量をもって計算している。また、ご意見の「食品ロス削減に対する取り組み」については、関連部署が複数あることから具体的には進めていない。今後、関係課で情報共有し、一般廃棄物処理計画の中にも文言として加えながら進めていきたい。

委員

個人的な推測であるが、コロナ禍における巣ごもりで外食が減り、事業用ごみから家庭用ごみにシフトしたことにより、今回家庭用ごみが増えた要因であると思う。他の自治体や全国的な流れも把握しているか。

環境土木課長補佐

新聞でも掲載はあったが、他自治体のごみの袋を増刷したということがあった。芽室町内でもごみ袋の需要が多かった。委員がおっしゃるとおり、コロナ禍による影響であると考えている。他自治体や全国でも同じ状況である。

委員

事業費とごみの量について関連性はあるのか。

環境土木課長補佐

くりりんセンターは十勝管内の全自治体が生産しているため、ごみの量だけとは一概にも言えないが、ごみの配送料など様々な要因によって増加した。

委員

数年前から芽室町のごみ袋が大きいのではないかという意見が出ているが、対策などはあるのか。

環境土木課長補佐

ごみ袋については、過去にアンケートをとって大きさを決めている。小さい袋がほしいとの声もあるが、あまり小さくしても使いづらいのではないかという声も上がっているため、検討している中で現状の大きさとなっている。

委員

意見であるが、ごみの量を減らすことを目的とするのであれば、ごみ袋を小さくすることも心理的要因となるのではないかと思う。

グループ長

評価に移るが、意見はあるか。

(意見なし)

庁内評価と同様Dでよいか。

(異議なし)

では「D(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した」評価とする。

⑥上下水道の整備

グループ長

事前質問の回答をお願いします。

【事前質問】

把握できる範囲で構いませんので、成果指標①および②の比率について、十勝管内等の他自治体の水準を知りたいです。

水道課長

成果指標①、②共に令和元年度の数値となるが、①について1位帯広市(98.9%)、2位芽室町(96.1%)、3位鹿追町(96.5%)、4位音更町(96%)、5位幕別町(95.3%)。

成果指標②について、1位帯広市(100.4%)、2位大樹町(99.1%)、3位広尾町(98.9%)、4位更別村(98.4%)、5位中札内村(97.9%)となっており、芽室町(82.3%)は12位となっている。

委員

マネジメントシート内3.(1)①の想定される理由欄にて、給水人口減少とあるが、どういうことなのか。

水道課長

雄馬別地区において水道整備は終えているが、各家庭への接続がまだ少ない状況であることから減少している。

グループ長

評価に移るが、意見はあるか。

(意見なし)

庁内評価と同様C評価としてよろしいか。

(異議なし)

では「C(前期実施計画策定時と比較して)前進した」評価とする。

グループ長

以上で専門部会 B グループ全ての議事が終了した。今後について、事務局より説明をお願いする。

事務局

資料に沿って説明。

グループ長

今の説明に関して何か質問や意見はあるか。

(質問なし)

それでは、専門部会を終了する。